

C協働学習（C1）

主な学習活動

日本の工業の盛んな地域を調べ、その特徴や工場が集まっている理由について考える。

1 本時のねらい

工業地帯・工業地域の分布や生産額などに着目して、工業の盛んな地域の広がりやそこでの工業が盛んな理由を様々な条件と関連づけて捉えることができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

ファイル共有

検索

画像編集

授業支援

電子黒板

プレゼンテーション

3 参考にしてほしいポイント

項目ごとに色づけされた白地図をMicrosoft PowerPointの機能を使って一枚に重ね、より多くの色が重なっている場所に注目することにより、太平洋ベルトについての理解を深める。それぞれの気づきをアンケート方式でまとめ、テキストマイニングの画面から全体のまとめへつなげる。

段階 場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	日本の工業の盛んな地域を調べ、その特徴や工場が集まっている理由について考える。	項目ごとに色づけされた白地図をPowerPointの機能を使って一枚に重ねることにより、色が重なっている場所が工業の盛んな地域であることに気づかせることができる。 児童一人ひとりの気づきをテキストマイニングの画面で可視化することによって、本時のまとめに生かすことができる。

タブレット

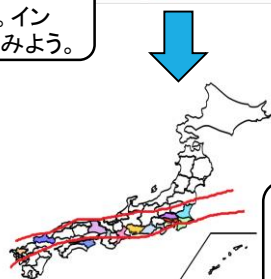
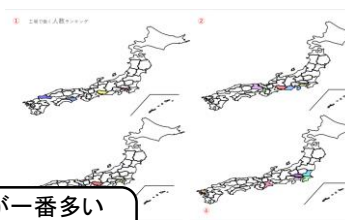
+

電子黒板

工場の数が一番多いのは、愛知県でした。自動車工場があるからかなと考えました。



工場で働く人が一番多いのはどこの県かな。インターネットで調べてみよう。



気づいたことをまとめたら・・・



4枚のシートを重ねたら、色が重なっているところをみると……。日本がシートベルトをしているみたいだ！

4 活用効果

児童は、班ごとに調べたことを（工場数、従業員数、工業生産額など）色別に地図に表し、それらを一枚に重ねて見ることによって、工業地帯や太平洋ベルトが色の重なりで可視化され、工業の盛んな地域のイメージをもつことができた。また、児童の気づきをFormsのアンケート形式でまとめ、テキストマイニングで表すことで、友達と意見を共有しながら本時を振り返ったり、次時につなげたりすることができた。